建交労　全国青年部

青年部ニュース

2019年度
NO.01（通算 NO.07）
2019.12.06
TEL:03-3360-8021
yamauti@kenkourou.or.jp

全国青年部 第21回定期総会　開催

全国青年部は、11月30日～12月1日の2日間に渡り第21回定期総会を開催し、総勢36名が参加しました。

総会1日目は、東京都立夢の島公園内にある「第五福竜丸展示館」の見学をおこないました。ガイドの方から、水爆実験に巻き込まれた第五福竜丸の乗組員23人全員が被ばくしたことなど第五福竜丸事件の概要を聞き、展示館内の資料により理解を深め、核兵器の非人道性を改めて学びました。

展示館見学後は分散会をおこないました。今回初めて第五福竜丸展示館を訪れた人も多く、「知らないことばかりだった」との声も聞かれました。展示館見学の感想だけでなく、各地での平和学習や組合活動についてなど活発な議論がなされました。

その後、貸し切りの屋形船にて交流会を開催しました。東京の夜景を見ながら、皆でもんじゃ焼きをつつき合い、とても楽しい時間を過ごしました。

↑第五福竜丸展示館のボランティアの方にガイドしていただきました

↑屋形船でもんじゃ焼き！きれいな夜景を見ながら、盛り上がりました♪

参加者の皆さんに、ネームプレートへワンポイントイラストを描いていただきました！このニュースにもちりばめていますので、探してみてください♪

↑左・全労連青年部　森慧佑書記次長
右・東京地評青年協　山中信吾副議長

→ＮＰＴ行動へ派遣される武田事務局長（左）と鈴木事務局次長（右）

２日目は建交労中央本部にて総会が開かれました。全国青年部の藤川拓部長の挨拶で始まり、全労連青年部の森慧佑書記次長と、東京地評青年協の山中信吾副議長から来賓の挨拶を頂きました。全体討論では委員以外に 12 人が発言し、人手不足や低賃金労働など厳しい現状の中でも、「久しぶりに若者の入社があった。これから育てていきたい」「定期的に登山など青年部の活動をおこない、繋がりを深めている」など各地の青年の意欲を感じる報告がされました。また、２０２０年ＮＰＴ再検討会議に合わせた国際行動へ派遣される武田喜成事務局長と鈴木亙事務局次長が行動へ向けた決意を述べ、ヒバクシャ国際署名へのとりくみを強化することを確認しました。今回、全国青年部委員として 10 年間活動にたずさわってきた菅野雅臣副部長が退任となり、今後を担う青年に向けて熱い激励の言葉がおくられました。

今年度のスローガンは「Ｙｏｕｔｈ　ｂｅ　ａｍｂｉｔｉｏｕｓ　多くの仲間を増やし、希望ある未来を掴み取ろう～憲法が活きた平和で一人一人が輝ける社会へ～」です。青年が大志を抱く未来へ向け、前進を続けていきたいと思います。

全体討論で発言された皆様

参加者の感想より

- “水爆実験”というものがある事を初めて知るくらいのレベルでの参加でした。核の怖さ、原子力の怖さを知る事の大切さを感じ、自分がもっと勉強して子ども達に教えてあげないと！！と思いました。
- 労働組合を含む運動により第五福竜丸の展示が実現し、母親大会の源流がこの事件にあることなどを知り、運動の大切さを感じました。
- 映画『ゴジラ』の背景に水爆実験があると知り、製作者の想いを強く感じました。
- 各支部の話を聞くことができて、どんな仕事も人手不足・低賃金の問題があることが分かりました。
- 自分も子どもを学童に預ける身として、福岡（春日市学童保育の指定管理者制度問題）の実情は目を背けられない問題であり、報道メディアや HP、SNS を使った活動を行い、広めていかなければいけないと思います。
- 「明日からがんばるぞー！！」という気持ちになれる場ですね。参加させていただいた事で学ぶ事が多く、活力になりました。

菅野さん、10年間青年部の活動お疲れさまでした!!

今年度選出された役員

部　長
藤川拓（大阪）

副部長
鈴木美夏（静岡）
秋山哉保（東京）
山内理恵（中央）

事務局長
武田喜成（広島）

事務局次長
鈴木亙（北海道）

中央担当
鈴木正明